



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月4日

上場会社名 中央紙器工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3952 URL http://www.mcpack.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 前 賢太 TEL 052-400-2800
 四半期報告書提出予定日 2021年11月8日 配当支払開始予定日 2021年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 5,336 | 33.0 | 354 | — | 393 | — | 267 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | 4,012 | △24.0 | △71 | — | △36 | — | △18 | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 383百万円(1,707.8%) 2021年3月期第2四半期 21百万円(△92.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 53.91 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | △3.81 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 14,314 | 12,267 | 85.7 |
| 2021年3月期 | 13,986 | 11,983 | 85.7 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,267百万円 2021年3月期 11,983百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 2022年3月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,600 | 14.7 | 600 | 259.1 | 660 | 174.8 | 435 | 154.3 | 87.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 2022年3月期2Q | 5,225,008株 | 2021年3月期 | 5,225,008株 |
|------------|------------|----------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 2022年3月期2Q | 258,048株 | 2021年3月期 | 258,048株 |
|------------|----------|----------|----------|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2022年3月期2Q | 4,966,960株 | 2021年3月期2Q | 4,966,984株 |
|------------|------------|------------|------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料の 2 ページをご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (4) セグメント情報等 | 6 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |
| (6) 会計方針の変更 | 6 |
| (7) 重要な後発事象 | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業ではコロナ禍の大きな影響から回復傾向にありました。非製造業においては各種制限措置の影響から一進一退の状況が続いており、全体としては緩やかな回復に留まっておりますが、国内のワクチン接種が着実に進んでおり、今後の更なる景気回復が期待されております。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、昨年秋から需要の回復が顕著となるものの、世界的な半導体不足や東南アジアからの部品供給難により、自動車メーカー各社が減産を行うなど、足元では多くの懸念材料が存在しており、先行き不透明な状況となっております。

こうした状況下、国内の段ボール生産量については、夏場の天候不順、半導体不足等により一部の業種向けで減産影響はあったものの、通販関連および食品需要が引き続き堅調で、全体では前年比増で推移しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、自動車関連の特需を含め需要が回復基調で推移したこと、また、在宅勤務やフレックス、多能工化などニューノーマルな働き方で業務の効率化を新たに進めながら、固定費削減などの原価低減活動にも引き続き取り組んだことで、業績予想を上回る結果となりました。

以上により、売上高は53億36百万円（前年同四半期比33.0%増）、営業利益3億54百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）、経常利益3億93百万円（前年同四半期は経常損失36百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億67百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は111億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億73百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2億61百万円増加したことによるものであります。固定資産は31億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、143億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が30百万円増加したことによるものであります。固定負債は7億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、20億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は122億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億67百万円及び剰余金の配当99百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率85.7%（前連結会計年度末は85.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想は見直しを行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,061,740 | 8,323,293 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,019,567 | 1,962,503 |
| 電子記録債権 | 556,848 | 606,126 |
| 商品及び製品 | 128,444 | 130,228 |
| 仕掛品 | 11,821 | 12,277 |
| 原材料及び貯蔵品 | 59,429 | 64,602 |
| その他 | 12,768 | 25,568 |
| 貸倒引当金 | △255 | △254 |
| 流動資産合計 | 10,850,364 | 11,124,345 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,761,284 | 1,731,266 |
| 無形固定資産 | 27,577 | 32,722 |
| 投資その他の資産 | 1,346,840 | 1,426,124 |
| 固定資産合計 | 3,135,702 | 3,190,112 |
| 資産合計 | 13,986,067 | 14,314,458 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 723,234 | 735,610 |
| 未払法人税等 | 110,637 | 140,757 |
| 賞与引当金 | 125,333 | 121,332 |
| 役員賞与引当金 | 28,160 | 14,080 |
| その他 | 303,817 | 315,908 |
| 流動負債合計 | 1,291,182 | 1,327,688 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 74,440 | 83,200 |
| 退職給付に係る負債 | 583,937 | 582,928 |
| その他 | 52,688 | 52,998 |
| 固定負債合計 | 711,065 | 719,126 |
| 負債合計 | 2,002,247 | 2,046,815 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,077,895 | 1,077,895 |
| 資本剰余金 | 980,562 | 980,562 |
| 利益剰余金 | 9,476,921 | 9,645,363 |
| 自己株式 | △72,168 | △72,168 |
| 株主資本合計 | 11,463,209 | 11,631,651 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 540,421 | 652,178 |
| 為替換算調整勘定 | △19,812 | △16,187 |
| その他の包括利益累計額合計 | 520,609 | 635,991 |
| 純資産合計 | 11,983,819 | 12,267,643 |
| 負債純資産合計 | 13,986,067 | 14,314,458 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 4,012,417 | 5,336,140 |
| 売上原価 | 3,087,151 | 3,931,087 |
| 売上総利益 | 925,265 | 1,405,053 |
| 販売費及び一般管理費 | 997,053 | 1,050,896 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △71,787 | 354,156 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 275 | 199 |
| 受取配当金 | 23,555 | 29,874 |
| 仕入割引 | 4,013 | 3,998 |
| その他 | 11,825 | 5,702 |
| 営業外収益合計 | 39,669 | 39,774 |
| 営業外費用 | | |
| 持分法による投資損失 | 3,537 | 679 |
| 売上割引 | 148 | — |
| その他 | 669 | 4 |
| 営業外費用合計 | 4,354 | 684 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △36,473 | 393,246 |
| 特別利益 | | |
| 持分変動利益 | 11,971 | — |
| 特別利益合計 | 11,971 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | △24,501 | 393,246 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 811 | 125,328 |
| 法人税等調整額 | △6,379 | 137 |
| 法人税等合計 | △5,568 | 125,465 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △18,933 | 267,781 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△) | △18,933 | 267,781 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △18,933 | 267,781 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 67,706 | 111,756 |
| 為替換算調整勘定 | △5,222 | 2,615 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △22,355 | 1,009 |
| その他の包括利益合計 | 40,129 | 115,382 |
| 四半期包括利益 | 21,195 | 383,163 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 21,195 | 383,163 |

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）会計方針の変更

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。そして、従来、販売費及び一般管理費として計上していた一部の費用について、第1四半期連結会計期間より顧客に支払われる対価として、売上高から減額しております。また、従来、営業外費用として計上していた売上割引は、第1四半期連結会計期間より変動対価として、売上高から減額しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費、営業利益、営業外費用に与える影響は軽微であり、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

1. 当期(2022年3月期 第2四半期累計)の連結業績

(1) 連結経営成績・・・今決算増収増益

(単位:百万円)

| | 当第2四半期 (2021.4.1~2021.9.30) (第71期) | | 前第2四半期 (2020.4.1~2020.9.30) (第70期) | | 増減額 | |
|----------------------|--|--------|--|-------|---------|-------|
| | | 百分比 | | 百分比 | | 増減率 |
| 売上高 | 5,336 | 100.0% | 4,012 | 75.2% | 1,323 | 33.0% |
| 営業利益 | 354 | 6.6% | △71 | -1.3% | 425 | — |
| 経常利益 | 393 | 7.4% | △36 | -0.7% | 429 | — |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 267 | 5.0% | △18 | -0.4% | 286 | — |
| 1株当たり 四半期純利益 | 53.91 円 | | -3.81 円 | | 57.72 円 | |

連結決算対象会社

- ・ 子会社 4 社 (中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、
香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・ 持分法適用会社 1 社 (MC PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・ 売上高の連単倍率 1.0 倍

《増収要因》 主要ユーザーである自動車関連の特需を含めた需要回復が進んだことにより増収となりました。

・ 業種別販売状況

(単位:百万円)

| | 当第2四半期 (2021.4.1~2021.9.30) | | 前第2四半期 (2020.4.1~2020.9.30) | | 増減額 | |
|--------|--------------------------------|--------|--------------------------------|--------|-------|-------|
| | | 構成比 | | 構成比 | | 増減率 |
| 自動車関係 | 3,796 | 71.2% | 2,647 | 66.0% | 1,149 | 43.4% |
| 電気機械関係 | 905 | 17.0% | 785 | 19.6% | 119 | 15.2% |
| 食品関係 | 82 | 1.5% | 86 | 2.1% | △3 | △4.3% |
| その他 | 551 | 10.3% | 492 | 12.3% | 58 | 11.9% |
| 合計 | 5,336 | 100.0% | 4,012 | 100.0% | 1,323 | 33.0% |

・ 品目別販売状況

(単位:百万円)

| | 当第2四半期 (2021.4.1~2021.9.30) | | 前第2四半期 (2020.4.1~2020.9.30) | | 増減額 | |
|---------------|--------------------------------|---------|--------------------------------|---------|-------|---------|
| | | 構成比 | | 構成比 | | 増減率 |
| 段ボール製品 | 4,097 | 76.8% | 3,092 | 58.0% | 1,004 | 32.5% |
| (段ボールケースほか) | (3,996) | (74.9%) | (2,998) | (56.2%) | (998) | (33.3%) |
| (三層段ボールケースほか) | (100) | (1.9%) | (94) | (1.8%) | (6) | (6.5%) |
| その他(化成品ほか) | 1,238 | 23.2% | 919 | 17.2% | 319 | 34.7% |
| 合計 | 5,336 | 100.0% | 4,012 | 100.0% | 1,323 | 33.0% |

《増減益要因：対前期営業利益》

| | | |
|---------|---------------|---------|
| 増 益 要 因 | ・ ・ ・ ・ | 425 百万円 |
| | ①需要回復による物量の増加 | |
| | ②収益改善の効果 | |
| | ③固定費の削減等 | |
| 減 益 要 因 | ・ ・ ・ ・ | - 百万円 |
| 営 業 利 益 | | 425 百万円 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------------|---------------|---------------|-----------|---------------|
| 2022年3月期 第2四半期 | 百万円 14,314 | 百万円 12,267 | % 85.7 | 円 2,469.85 |
| 2021年3月期 | 13,986 | 11,983 | 85.7 | 2,412.71 |

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | 配当金総額 (年間) 百万円 | 配当性向 (連結) % | 純資産配当率 (連結) % |
|------------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|-------------------|---------------------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 | | | |
| 2022年3月期 (予想) | 円 銭 20.00 | 円 銭 20.00 | 円 銭 40.00 | | 45.7 | |
| 2021年3月期 | 20.00 | 20.00 | 40.00 | 198 | 116.1 | 1.7 |

3. 通期(2022年3月期)連結業績予想

通期業績予想については、2021年5月13日に公表したとおりです。

増収増益 予想

(単位:百万円)

| | 通期予想(2022年3月期) | | 前期(2021年3月期) | | 増減額 | |
|---------------------|----------------|--------|--------------|--------|---------|--------|
| | | 百分比 | | 百分比 | | 増減率 |
| 売 上 高 | 10,600 | 100.0% | 9,239 | 100.0% | 1,360 | 14.7% |
| 営 業 利 益 | 600 | 5.7% | 167 | 1.8% | 432 | 259.1% |
| 経 常 利 益 | 660 | 6.2% | 240 | 2.6% | 419 | 174.8% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 435 | 4.1% | 171 | 1.9% | 263 | 154.3% |
| 1株当たり 当期純利益 | 87.58 円 | | 34.44 円 | | 53.14 円 | |